

伊藤
整

日本文壇史

詩人と革
命家たち

5

講談社

日本文壇史 V



(黒柳製本)

昭和三十三年四月三十日 第一刷発行 ㊦

定價 三六〇圓

著者 伊藤 整

發行者 野間 省一
東京都文京區音羽町三ノ十九

印刷者 澁谷 龍吉
東京都文京區音羽町三ノ十九

印刷所 豊國印刷株式會社
東京都文京區音羽町三ノ十九

發行所 株式會社 大日本雄辯會講談社
東京都文京區音羽町三ノ十九

振替口座 電話 三一〇一 (代表)
東京三九三〇 大塚

落丁本・割丁本はお取りかえ致します。

は し が き

「日本文壇史」第五卷の内容は、明治三十年（一八九七年）から明治三十三年（一九〇〇年）にわたつてゐる。日清戦争のあと、工業や商業の近代化が次第に行きわたりはじめた頃で、それに關係のある現象が文化界に現はれて來てゐる。足尾銅山の鑛毒事件がそれであり、職人でない職工といふ名の組織産業の労働者が現はれて、それを背景として社會主義的思想における階級問題がとらへられるやうになつた。

従つて、社會正義感が質的に變化しはじめるのである。明治二十年代までの薩長系の官僚と農民の對立といふ考へ方は、自由民権といふ言葉を核とする正義意識で整理されてゐたが、この頃からそれが、労働者と資本家といふ形で意識されはじめるのである。

それを象徴するのが、中江兆民の政治運動の終りと、その弟子なる幸徳秋水の社會主義思想の成熟に見られる世代の交替である。しかし、これはまだ特定の人々の精神の變化といふ段階のことで

あつて、一般の社會通念はなほ、官吏に支配される庶民といふ域にとどまつてゐる。

また文藝作品の出版においては、博文館と春陽堂を中心とするジャーナリズムが確立するとともに、それを據りどころとする硯友社系統の文學者たちは、當時の一般社會通念である義理人情的な考へ方の枠の中での人間の悲喜を味はせる娛樂讀物の供給者となり、商品としての出版需要に應ずるやうになる、特定の出版業者と一群の作者との結びつきがそこに固定化する。

このやうに、一群の文士の生活條件が特定の出版商業と結びついてしまふと、別種の出版商業の發生するまでは、その状態が繼續することになる。従つて若い文士は、その組織の中に入つて徒弟化する外に世に出る道がない。ただ、同じ手法を使ひながらも、既成の作家たちの爲し得なかつた變種の作品を作る才を持つた鏡花のやうな存在だけが目立つことができる。

商業利益の主たる目標になつてゐない詩歌の類は、この組織から自由であるから、新精神を持つ文士たちは、一應この畑で仕事をする傾向がある。この時期の花袋、獨歩、藤村等がそれである。また、與謝野寛の「明星」を中心起つた詩歌の運動、正岡子規の「ほととぎす」を中心とする俳句と寫生文と短歌の運動等も、その點で、舊文學に對する一種の突破口を準備するわけである。

だから、唯物的な社會主義思想の發生とロマンチックな詩歌の革新運動とは、その内容において直接のつながりはないが、既存の組織、その核をなす思考様式への叛逆者であるといふ點では、共通の性格を持つてゐたと見ることが出来る。

また、國木田獨步、木下尚江、幸徳秋水、田岡嶺雲のやうな人々が、一面においては正義感によつて行動しながら、しかも一面では破滅的生活者であるといふ矛盾が、この時期から次第に目立つて來るが、それは人間性そのものの内部にある矛盾が、これ等性格の強い人々において特に顯著に現はれるものと考へるべきことであらう。

この第五巻もまた遅延してゐて、しばしば熱心な讀者諸氏から催促を受けた。特にこの巻の前半部は、雜誌發表時の原稿に多くの加筆訂正を加へなければならなかつたのも原因の一つであるが、一重に著者の責任であつて、申しわけないことと思つてゐる。

なほこの巻については、出版擔當の早川徳治氏、索引作成の奥野數美氏を煩はした外に、内容全體にわたつて校正擔當者の芳賀義彦氏に入念な調査をして頂き、多くの事項について正確を期すことができた。また第一巻、第二巻の出版擔當者であつた中島和夫氏は、いま「群像」におけるこの

稿の擔當者となつてゐるが、氏もまた本卷の全體にわたつて、疑念のあるところについて意見を述べられ、得るところが多かつた。合せて感謝の意を表したい。

著者の私が怠慢になつたといふわけではないが、卷が進むに従つて、事項人物等が多くなり、その諸關係が煩雜なものになつて來るので、著者はこれ等の人々に手を引かれ、尻を押されて、のろのろと歩いてゐるやうな感じを味ふやうになつてゐる。

今年度はこれに續いて、第六卷、第七卷の出版準備に取りかかる。

また本卷から、各章について、學ぶところのあつた参考文献をまとめて卷末に載せ、諸家の業績に負ふことに對して感謝するとともに、それぞれの項について學習する人々の便宜をはかりたいと思ふ。

一九五八年三月十三日

伊 藤 整

寫眞

堀紫山、堺利彦、渡邊霞亭

笹川臨風、大野洒竹、田岡嶺雲、樋口龍峽、白河鯉洋

尾崎紅葉、島村抱月、廣津柳浪、後藤宙外

大町桂月、藤岡勝二、畔柳芥舟、佐々醒雪、上田敏

岡田正美、武島羽衣

* 武内桂舟、長田秋濤

有島武郎、新渡戸稻造、新渡戸郎

* 森鷗外（小倉時代）島崎藤村（小諸時代）と冬子夫人

銀座にあつた毎日新聞社、島田三郎、安部磯雄、幸徳秋水

片山潜、西川光二郎、木下尚江、河上清

* 薄田泣菫、落合直文、與謝野鐵幹、山川登美子と與謝野晶子

高須梅溪、河井醉茗、新聲社

* 長塚節、伊藤左千夫、正岡子規と周邊の人々

松岡國男、田山花袋、太田玉茗、宮崎湖處子、國木田獨步

武内桂舟畫「金色夜叉」熱海海岸の場

口繪

卷 頭

101 二

114 二五

124 三五

146 二四七

156 二五九

索引

A

- 「油柄杓」 162.
 「仇浪」 113.
 「あひびき」 37.
 合田清 43.
 赤木格堂(龜一) 259, 264.
 赤松登志子 156.
 天野爲之 14.
 雨谷一茶庵 250.
 アンデルセン Andersen, H. C. 185.
 姊崎嘲風(正治) 200.
 安藤仲太郎 91.
 「アンナ・カレーニナ」 59.
 青柳有美(猛) 54.
 有島生馬 154.
 有島武郎 129—131, 154.
 アーヴィング Irving, W. 150.
 足尾銅山釐毒事件 206—208, 212, 226.
 浅香社 176, 178, 257, 265.
 朝寝坊夢樂 118, 220.
 鮎貝房之進 177.
 麻布英和女學校 30.
 畔上賢造 235.
 東亭扇升→小山内薫

B

- 馬場孤蝶 22, 24, 25, 27, 104.
 坂正臣 217.
 「萬有と詩人」 127.
 「芭蕉庵桃青傳」 30, 87.
 「芭蕉後傳」 87.
 「防長回天史」 10, 11, 12.
 「亡國の音」 176.
 「暮笛集」 180—181, 245.
 「文學界」 22, 23, 29, 50, 58, 62, 64, 67, 78, 104, 110, 122, 140, 196.
 「文學者となる法」 30.
 「文藝俱樂部」 36, 43, 50, 57, 63, 73, 87, 109, 110, 113, 117, 150, 154, 175, 191, 193, 196, 198, 199, 204, 220, 221, 223, 230, 237.
 「文庫」 81, 82, 120, 145, 149.
 「文章講義錄」 143, 144.
 「蕪村句集」 44.
 バイロン Byron, G. G. 62.

C

- 治安警察法 212—213, 215, 216.
 カーライル Carlyle, T. 126.
 竹柏會 27, 28, 255, 265.
 「千曲川のスケッチ」 268.

「畜生腹」	104.
「チャイルド・ハロルド」	62.
千歳米坡	117.
「中學世界」	194,
「中國民報」	243.
「中央新聞」	13, 15, 189, 195, 203, 215.
クラーク Clark, W. S.	129.
クラウゼヴィッツ Clausewitz, K. von	159, 185.

D

大學南校	137.
第五高等學校	168, 252.
第一高等學校	165, 168, 228, 252.
「大慈悲」	63.
第二高等學校	29, 165, 204.
大日本文章學會	144, 147.
大日本労働協會	216.
「第二嶺雲搖曳」	145.
第三高等學校	111, 165, 200.
第四高等學校	64, 165.
「伊達染小袖」	42.
同志社大學	178.

E

江口襄	158.
江口渙	158—159.
江口甲子	158.
エマソン Emerson, R. W.	126.

江見水蔭(忠功)	41, 43, 44, 78, 79, 80, 81, 104, 155, 191, 194, 195, 196, 241.
「エンディミオン」	63, 234.
「烟鬼」	199, 220,
榎本武揚	207.
榎本治子	36—37, 59, 231, 236.
榎本みね	231.
榎本破笠	222.

F

フェノロサ Fenollosa, E. F.	64.
福地櫻痴(源一郎)	8, 40, 222— 223, 230.
福壽	8, 9.
「福岡日日新聞」	8, 185, 186, 189.
福島事件	99.
福家安子	98, 101.
福澤諭吉	66, 71, 159, 224, 237.
藤井紫明	77, 106, 195.
藤岡作太郎	28.
婦人救済所	211.
藤澤浅二郎	51, 104.
藤代素人(禎輔)	252, 253.
「風景畫家コロオ」	251.
「ふる郷」	147, 194.
古河市兵衛	206, 208.
古川魁薔子	80.
布施敬子	30—31, 87.
布施謙太郎	30.

「ふた葉」 182, 245.
 二葉亭四迷 5, 35—36, 37, 50, 51,
 175, 184, 186, 268.
 「再び歌よみに與ふる書」 46.

G

畫報社 190.
 「眼前口頭」 20.
 ガルスト, チャールス 14, 54.
 「現代の非丈夫的和歌を罵る」
 176.
 「源叔父」 36, 237.
 元老院 256.
 ジョージ, ヘンリイ George, H.
 15.
 義和團 239.
 後藤宙外 32, 78, 104, 105, 109,
 110, 111—112, 178, 179—180,
 181, 187, 188, 189, 195, 197, 203.

H

保安條例 212.
 芳賀矢一 28, 75, 252, 253.
 「敗荷」 182.
 「俳諧大要」 258.
 「俳句評釋」 145.
 萩の舎 28.
 博文館 50, 109, 174, 187, 192,
 193, 194, 196, 197, 204, 220, 240.
 「花吹雪」 146.

「花籠」 117.
 羽田櫻村 163.
 原抱一庵(余三郎) 14, 89, 90.
 原カメジ 89.
 ハルトマン Hartmann, K. 156.
 長谷文子→森文子
 長谷川二葉亭→二葉亭四迷
 長谷川ツネ 35—36.
 長谷川天溪(誠也) 193, 194.
 長谷川濤涯 174.
 橋本綱常 100.
 秦冬子 123, 125—126.
 秦慶治 123.
 畑島桃蹊 4, 5, 6.
 鳩山和夫 14.
 「はつ姿」 218, 219—220.
 八田知紀 45, 48.
 服部躬治 265, 266.
 服部睦子 53.
 ハウプトマン Hauptmann, C.
 185.
 林瀧野 178, 182, 247.
 林八枝 129.
 林有造 141.
 「髯題目」 201.
 「ひげ男」 201.
 樋口一葉(夏子) 22, 24, 25, 50, 67,
 81, 138, 154.
 樋口邦子 25—26.
 樋口瀧子 25.

「非國民」 53.
 「雛祭」 174.
 平田禿木(喜一) 22, 63.
 平木白星 178.
 平尾不孤 180.
 廣津和郎 55—56, 73, 174.
 廣津柳浪 4, 43, 53, 55, 71, 72—73,
 103, 104, 117, 155, 174, 176, 195,
 196, 198, 199, 218, 220, 245, 253.
 廣津壽美子 55, 175.
 廣津俊夫 55, 73, 174.
 「人々に答ふ」 257, 260, 261.
 「一葉舟」 29, 58.
 「人を戀ふる歌」 248.
 「報知新聞」 193, 237, 240.
 北越學館 243.
 「北國新聞」 32, 109.
 「奔馬」 220—221.
 堀美知子→堺美知子
 堀直竹 3.
 堀紫山(成之) 3—4, 7, 12, 41.
 堀保子 12.
 「星」 168.
 星野麥人 195.
 星野天知 22.
 星良子→相馬良子
 「星落秋風五丈原」 127, 128, 133.
 「星と花」 127.
 細越夏村 178.
 「ほととぎす」 92, 93—94, 95, 111,

168, 169, 177, 262, 267.

「不如歸」 101, 162.
 「不如歸」(單行) 249—250, 251.
 穂積八束 139, 141.
 ユーゴオ Hugo, V. 126, 237.
 「百零一」 16.
 鳳晶ほうしやう おほとり→ 鳳 晶子
 原田豐子→森田豐子

I

市川團十郎 223.
 市川左團次(小米) 155, 234.
 一木喜徳郎 141.
 市島春城 78.
 「いばらき新聞」 85, 144, 145, 241.
 伊原青々園 190.
 飯田宏策 32, 33, 34.
 いかづち會 265.
 池内政夫 93.
 郁文館中學校 29, 127.
 生田葵山(盈五郎) 197, 198, 221,
 230.
 「今戸心中」 55, 72.
 今井慶松 230.
 「今の武藏野」 38—39.
 「今様厭世男」 87.
 稻垣乙丙 252.
 猪股爲治 185.
 井上啞々(精一) 198, 221.
 井上馨 9, 237.

井上哲次郎 217.
「いささ川」 27, 265.
石橋忍月(友吉) 32, 34, 43, 108,
109, 110, 112-113, 179, 197, 203.
石橋翠 32.
石橋思案 79, 188, 195, 196, 203.
石川半山(安次郎) 14, 137.
石樽千亦 27, 256.
「石黒男と鷗外漁史」 189.
石黒忠憲 153, 157, 189.
石坂惟寛 157.
石割松太郎 82.
五百木飄亭 172, 257, 258.
「磯馴松」 194.
板垣退助 15, 88, 141, 208, 256.
伊藤博文 8, 12, 15, 114, 131, 132,
142, 205, 217, 237, 238—239.
伊藤生子→末松生子
伊藤すゑ 105, 106, 108, 199.
伊藤並根 255, 256.
伊藤良作 256.
伊藤左千夫(幸次郎) 254, 257,
258, 259—260, 261, 264, 265—
267, 268, 269.
伊藤春園→伊藤左千夫
伊藤とく 256.
伊藤正 193.
岩倉具視 99.
巖本善治 14, 123, 124, 139.
岩波茂雄 236.

岩瀬正吉 26,
巖谷小波 28, 43, 168, 192, 193,
195—196, 197—198, 221, 228,
230, 233.
巖谷勇子 197.
泉鏡花 43, 74, 75, 76, 77, 78, 81,
103, 104, 105—106, 107—108,
146, 149, 186, 188, 191—192,
194, 195—196, 197, 198, 199—
203, 218, 220, 229, 268.
泉豊春(斜汀) 74, 77, 103, 106,
195, 199.

J

「實業新聞」 6.
自由黨 88, 216, 256.
城泉太郎 13, 213.
「抒情詩」 52, 59, 67.
女子獨立學校 225.
女子學院 30.
「女郎衆に寄する文」 211.
「十五少年」 237.

K

「火鞭」 18.
「歌舞伎」 189, 190.
歌舞伎座 39—42, 148, 222.
「歌舞伎新報」 190.
「灰燼」 250, 251.
「改良奥様」 218.

- 「改良若旦那」 218.
「改良若殿」 218.
「改進黨」 6.
改進黨 256.
梶田半古 31.
賀古鶴所 159.
上司小劔(延貴) 4, 12, 41, 116.
上村左川(貞子) 193, 194.
神谷鶴伴 203.
「活文壇」 198.
假名垣魯文 79, 137.
蒲原忠藏 62.
蒲原有明(隼雄) 62—63, 234—235.
金子堅太郎 53.
金子薰園 265.
金尾文淵堂 180, 182, 245.
金尾種次郎 180.
「關西文學」 246, 248.
活版工組合 216.
「片戀」 37.
片山廣子 28.
片山春帆 193.
片山潜 14, 213, 214.
「家庭雜誌」 37, 237.
加藤紫芳 4.
加藤トシ子 225.
香取秀眞(秀次郎) 255, 258, 259, 264, 265, 266, 269.
川田綾子 28, 168, 228, 233.
「河内屋」 55, 72.
河東碧梧桐 44, 92, 111, 145, 171—172, 173, 259, 267.
河田芳水 178.
河井醉茗(又平) 81—82, 120, 121, 182, 183, 246.
河上忠 65.
河上肇 64—66, 140—142.
河上清 14.
川尻清潭 190.
川上眉山 22, 73, 103, 104, 155, 175, 195, 196, 218.
川上音二郎 222, 224—225.
川上貞 224—225.
川田鷹 228.
川田順 28, 167, 228—229, 231, 232, 233, 234, 252.
川田剛(甕江) 28, 167, 228.
キーツ Keats, J., 63, 234.
「經國美談」 237.
慶應義塾 156, 237.
「硯月」 151.
「かはたれ月」 117.
硯友社 22, 30, 60, 103, 104, 106, 116, 162, 163, 195, 197, 203, 218, 229.
「希望」 127.
「奇遇」 37.
「龜甲鶴」 74.
菊池常三郎 157, 159.

- 菊池幽芳 80, 81, 112.
 木下尚江 134—137, 138—140,
 141—142, 209, 211.
 木戸孝允 9.
 木村熊二 61, 123, 124—125.
 木村鎧子 124.
 木村鷹太郎 43, 110.
 キプリング Kipling, R. 185.
 桐の舎桂子 255, 256.
 基督教婦人矯風會 211.
 岸上質軒(操) 43, 193.
 「木曾谿日記」 23.
 「伽羅文庫」 117.
 北村透谷 10, 22, 24, 62.
 小林天眠(政治) 81, 82, 117, 120,
 174, 178, 244, 245, 247, 248.
 小林天民 120.
 小林天龍 132, 242, 243.
 「神戸新聞」 20, 43, 79, 104, 191,
 192, 241.
 幸田幸子 28.
 幸田延子 28.
 幸田露伴 28, 32, 43, 60, 79, 81,
 88, 109, 157, 180, 186, 188, 189,
 193, 194, 200, 201, 203, 204, 221.
 兒玉花外 133, 183, 225.
 小玉せき 156—157.
 ケーベル Koeber, R. 78.
 小糸ん 105, 196.
 「郊外」 240.
 「珈琲店」 219.
 小出樞園(餐) 257.
 小池正直 157.
 小糸 164.
 小泉八雲 Hearn, Lafcadio 78.
 小島烏水(久太) 82, 145.
 「孝女白菊の歌」 176.
 「荒城の月」 29.
 「江湖文學」 18.
 「心の華」 27, 28, 255, 265, 266.
 「國文學」 182.
 國民英學會 13, 62, 234.
 「國民之友」 37, 39, 57, 62, 89,
 110, 196, 237.
 「國民新聞」 30, 53, 96, 97, 101,
 102, 162, 230, 237, 249, 250.
 國民黨 16.
 小諸義塾 123, 235, 236.
 光妙寺三郎 117.
 「金色夜叉」 39, 40, 51, 67, 101,
 103—104, 149, 161, 162, 163,
 166, 196.
 「金色夜叉」前篇(單行) 52.
 河野廣中 99, 136.
 河野鐵南 120, 122, 245, 247.
 「行路心」 113.
 高等商業學校(一橋大學) 71.
 工手學校 235.
 小杉天外(爲藏) 78, 175, 218—220.
 幸徳朝子 13, 215.

幸徳千代子 215.
 幸徳秋水（傳次郎） 13, 14, 15, 16,
 20, 24, 211, 215—216.
 幸徳多治子 13, 215, 216.
 「高野聖」 200, 203, 268.
 紅葉塾 103, 106, 108, 113.
 康有爲 238.
 「紅葉青山水急流」 127.
 久保猪之吉 265, 266.
 窪田空穂 178.
 陸羯南 14.
 國木田獨步（哲夫） 36—39, 48—
 50, 52, 57, 59, 60, 67, 78, 123, 230
 —231, 235, 236—237, 239, 240
 —241, 251, 268.
 「暮の二十八日」 31, 34—35, 87,
 104.
 栗本鋤雲 137.
 栗島狹衣 178.
 黒田長和 53.
 黒田湖山（直道） 189, 197, 198,
 230, 234.
 黒田清輝 32, 33, 34, 249.
 黒岩涙香（周六） 16, 85, 93, 132,
 174, 211, 215.
 「黒蜥蜴」 72, 220.
 畔柳芥舟（都太郎） 200.
 久留島武彦 43, 79, 198.
 「京華日報」 110, 111.
 「京都日出新聞」 114.

兇徒囂集罪 212.
 「九州日報」 241, 242.

L

Lark 8.
 「レッシング散文集」 26.

M

前田林外 178.
 前田曙山（次郎） 112, 197, 203.
 前田香雪 43.
 「毎日新聞」 137, 139, 209, 210,
 211.
 「牧の方」 42.
 牧野みね子 99.
 牧野伸顯 99.
 「萬朝報」 16, 17, 20, 45, 84, 93,
 117, 132, 133, 211, 215, 216, 220,
 225, 242, 250.
 「團々珍聞」 155, 215, 233.
 正岡子規 32, 44, 45—46, 50, 60,
 92, 93—96, 111, 168, 169—170,
 171, 172, 176, 177, 184, 188, 254,
 255, 256, 257—259, 260—261,
 262—264, 265, 266, 267, 268—
 270.
 眞下飛泉 82.
 増田義一 116.
 松田正久 141.
 松方正義 12, 238.

- 松岡國男 52, 59—60, 61, 234.
 松村介石 14, 207, 213.
 松瀬青々（彌三郎） 172, 173.
 明治學院 64.
 明治法律學校 235, 256.
 明治女學校 30, 123, 124, 125,
 139, 154.
 明治書院 176, 177.
 「名流漂海」 204.
 「めざまし草」 150, 156, 185, 189,
 190.
 「みだれ髪」 219.
 三樹一平 177.
 「三重櫻」 117.
 三木竹二→森篤次郎
 「水沫集」 82.
 民友社 30, 53, 96, 97, 249.
 三島通庸 99, 100.
 三島和歌子 100, 102.
 三島彌太郎 99—101.
 三島正治 148.
 「三たび歌よみに與ふる書」 46,
 257.
 箕作麟祥 217.
 三宅青軒（彦彌） 43, 193, 220—
 222.
 三宅雄二郎 14.
 「都新聞」 5.
 宮内鹿川 178.
 宮崎湖處子 14, 53—54, 59, 67, 97.
 宮澤春文 193.
 宮澤俊三→内田不知庵
 桃太郎→伊藤すゞ
 「木曜會」 198.
 森篤次郎 185, 189, 190.
 森文子 190.
 森清子 156.
 森峰子 156, 185, 190.
 森鷗外（林太郎） 28, 60, 82, 88,
 100, 109, 150, 153, 156—157, 159
 —160, 173, 184—190, 218—219.
 森於菟 156, 157.
 森本厚吉 130.
 森田思軒（文藏） 237—238.
 森田豐子 238.
 森田下子 238.
 本吉欠伸（乙槌） 4, 5, 7—8, 9, 20.
 本吉浪子 4, 5, 6, 7.
 元良勇次郎 14.
 村上浪六 174.
 村上露月 173.
 「村の名物」 218.
 「武藏野」 251, 268.
 村山龍平 82.
 「明星」 182, 245, 246, 247, 265.
 森有禮 217.

N

- 「ナナ」 219.
 永井荷風（壯吉） 71—73, 117—